

4月17日(火)～5月5日(土)
 仙台・宮城・東北の作家
 <近代編>

熊耳耕年筆
 「南極荷町耕年宅関東震災実境図」(寄託)、
 遠藤速雄筆「猫に粟栗図」、
 倉田松壽筆「速磨画賛」、他

ギャラリートーク 4月27日(金)14:00～15:00
 要入館券 自由参加

1期



5月15日(火)～6月2日(土)
 仙台・宮城・東北の作家
 <近世編>

東 東洋筆「鍾馗図」、菊田伊洲・他筆「衆芳碎珠」、
 忠岡三千子筆「若衆・花魁図」、他

和みワークショップ「紋切り遊び」
 5月26日(土)10:00～14:00 1階情報コーナー
 参加費400円 自由参加

ギャラリートーク 6月2日(土)14:00～15:00
 要入館券 自由参加

2期



平成30年 福島美術館から感謝をこめて

福島禎蔵が 愛し遺したコレクション

調査中の所蔵品も紹介します。期間中は茶道具・華道具・書道具・仏像・人形・民芸品なども展示します。作品は変更する場合がございます。

仙台・街のちいさな美術館

社会福祉法人 共生福祉会

@FukushimaMuseum

福島美術館

福島美術館 仙台 検索

〒984-0065 仙台市若林区土樋288-2 Tel 022-266-1535



平成30年度末をもって
 事業を一旦休業します。
 12月22日(土)まで様々な
 角度から福島美術館
 収蔵品をご紹介します。

開館日にご注意ください。

開館時間 9:00～16:30

開館日 展覧会期間中の
 火曜日～土曜日

※臨時休館日を設ける場合あり

入館料 一般 400円

学生・70歳以上 300円

※高校生以下・障がい者の方は無料

6月12日(火)～6月30日(土)
 花鳥風月～美術の中の自然

橋本雪蕉筆「溪山驟雨図」、小杉放筆「雉」、
 喜多武清筆「東廡秋色」、他

同時開催 ミニ個展 古山 拓 水彩画展
 「みちのくの花鳥風月～藤崎カレンダー原画を中心に」
 1階情報コーナー 無料

心と脳のコミュニケーション「墨で描く【雨に花】」
 6月23日(土)13:30～15:30 4階
 講師 さとう芳子氏(臨床美術士)

参加費500円 事前申込制 締切6/21(木) 定員15名(小学生以上)

お電話、または美術館受付にてお申込みください



3期

7月10日(火)～7月28日(土)

あの人・この人～ 人物画を楽しもう!

田中訥言筆「紀 貫之像」、遠藤元蘆筆「渡河達磨」、
 貞春筆「人物画」、他

同時開催 ミニ個展 藤村みゆき
 ちびぐるみ展「あの人、この人～ちびぐるみDEMO」
 1階情報コーナー 無料



4期

9月4日(火)～9月22日(土)
 遠忌300年 仙台藩4代藩主
 伊達綱村と黄檗宗

隠元隆琦筆「書 竹欄午風涼」、
 喜多元規画・木菴賛「木菴性瑠像」、
 高村光雲刻「釈迦如来坐像」、他

ギャラリートーク 9月8日(土)14:00～15:00
 要入館券 自由参加

5期



10月2日(火)～10月20日(土)
 文房四宝～
 書・墨・硯の魅力

西郷南洲(隆盛)筆「草書」、
 中林梧竹筆「書 横手道中臨書」、
 近衛信尹筆「片桐且元宛書状」、他

同時開催 ミニ個展 後藤夕深 じぞうもじ展「縁」
 1階情報コーナー 無料

6期



募集

10月30日(火)～11月17日(土)
 みんなが見たい!この作品

皆さまの投票により展示作品を選考します。
 展示作品発表 9月8日(土)

ギャラリートーク 11月17日(土)14:00～15:00
 要入館券 自由参加

詳しくはウラ面をご覧ください

7期



8期

12月4日(火)～12月22日(土)
 幸せ願う・めでた掛け

伊達綱宗筆「弁財天社丹図」、
 中林梧竹筆「朱画達磨」、
 佐久間晴嶽筆「七富図」、他

ありがとう!ペイント会 期間中 3階通路
 詳しくはウラ面をご覧ください 要入館券 自由参加

ミーオカーとタイの文化を楽しもう!

12月8日(土)14:00～15:00 4階 要入館券 自由参加





仙台市若林区土樋にある「仙台街のちいさな美術館」こと福島美術館は、昭和55(1980)年から社会福祉法人 共生福祉会が運営している民間の美術館(博物館相当施設認可)です。

このたび福島美術館は、平成30年度末で事業を一旦休業することとなり、美術館開館以来、多くの方々にご来館いただきました。また、平成23(2011)年3月に発生した東日本大震災による休館に際しましては、「七福絵はがき募金」により全国各地から多くのご支援を頂戴することが叶いました。誠にありがとうございました。

共生福祉会は重度身体障害者

の福祉施設を運営する団体ですが、設立者・福島禎蔵(1890~1979)は「福祉と文化」の両面から社会に貢献することを願っており、土樋の福道家邸宅の敷地の一部を当会に寄付して昭和48(1973)年にライフセンターが誕生します。当初はカルチャー教室とカウンセリングの機能を備えた施設でしたが、障害を持つ人々や市民に親しめる文化施設を創設することは法人設立の構想段階から盛り込まれていきました。

更に禎蔵は福道家の愛蔵品を寄付して、これらが一般に公開され、学術文化の向上に寄与し、文化財として後世に継承されることを祈念しました。その後、多くの研究者と関係機関の理解と協力を得て、禎蔵が亡くなった翌年、先に誕生していたライブ

センターの中に美術館を併設開館します。共生福祉会はその志を受け継ぎ、福道家を後世に伝えるため「福島美術館」と命名しました。

福島美術館の収蔵品の多くは仙台の実業家である福道家当主の禎蔵と父・與惣五郎(1864~1938)、祖父・運蔵(1820~96)の三代に渡り収まった美術工芸品です。その中には、代々の当主がそれぞれ支援した画家や書家の作品、禎蔵が伊達家やその菩提寺である大佛寺を支援した結果として当家に収まった資料など、仙台・宮城の文化史や美術史を語るうえで煌きを放つものがあります。

開館以来、書・絵画・工芸品・古書籍など3,000点余の収蔵品の中から、企画展と通年の常設展を開催し、「身近でわかり易く」を心がけ作品を紹介してまいりました。

平成30年は4月から12月まで8期に分けて、「福島禎蔵が愛したコレクション」と題し、各テーマに沿って各期約60点を展示いたします。また、皆さまの厚意である「七福絵はがき募金」(平成30年3月末をもって終了しました)は震災再開以降、資料を後世に遺すための修復費に活用いたしております。修復を終えた資料は順次展示によりご報告いたします。

収蔵品たちも、いつの日かまた、皆さまとお目にかかれることを願っています。感謝と折りをこめた展示会をどうぞお楽しみください。

福島美術館七福絵はがき



平成30年 福島美術館から感謝をこめて

福島禎蔵が 愛し遺したコレクション

募集

7期「みんなが見たい!この作品」の
展示作品をみんなでえらぼう!

美術館内に設置するこれまでのチラシ・出陣リストなどを参考に
展示でみたい作品をご応募ください。
ご応募は美術館の応募箱で受付します。
募集期間:4月17日(火)~7月28日(土)

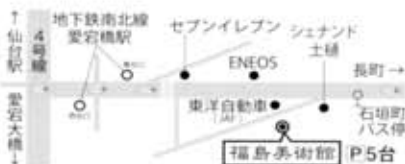
お知らせ

「ありがとう!ペイント会」
8期「幸せ願う・めでた掛け」の期間中、
3階展示室廊下の壁を思い思いに
ペイントしてください。
絵あり、書あり、詩あり、メッセージあり。
お待ちしております。
(画材はこちらでご用意いたします。)

要入館券 自由参加

交通のご案内

- 地下鉄** 南北線愛宕橋駅(東出口)徒歩5分
- バス** 石垣町バス停下車徒歩3分
 - 仙台市営バス:5番乗り場 若林経由
 - 宮城交通バス:8番乗り場 秋保行き、飯田団地行き
- 車** 仙台南ICから約20分
仙台駅から国道4号線沿い愛宕大橋手前の信号を左折、東洋自動車(JAF)裏 [駐車場5台完備]



地下鉄南北線 愛宕橋駅下車 (徒歩5分)

鳥屋のらくぐい

落語+展覧会鑑賞付き

11月10日(土)

福島美術館4階 14時~15時

木戸銭 1,000円(前売り/当日共)

鳥屋主催/福島美術館共催イベント

お問い合わせ・申し込みは鳥屋(白鳥)まで
メール shiratorieichi@gmail.com
TEL 090-8255-6304